

(様式2)

平成 23 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570400869		
法人名	株式会社 ユニマットそよ風		
事業所名	三条ケアセンターそよ風		
所在地	新潟県三条市島田2-4-3		
自己評価作成日	平成23年9月30日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.n-kouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1570400869&SCD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人ウェルフェアー普及協会		
所在地	新潟県三条市東三条1-6-14 (調査事務局:新潟県三条市高岡155)		
訪問調査日	平成23年11月16日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

三条ケアセンターは平成16年6月に開所し今年で8年目を迎えました。1階はデイサービス、居宅支援事業所、2階は2ユニット各9名ずつのご利用者が入居されるグループホームから成り立っております。島田地区の住宅街にあり、近隣には協力医療機関、小学校、中学校、児童館などがあり、特に小学校の4年生とは総合学習を通じて、相互の訪問や親子レク(親子介護ふれあい体験)を通じ、認知症への理解、介護体験教室での高齢者疑似体験・ベッド布団からの起き上がり・車椅子使用・着替え・食事の介助や福祉用具の種類と取り扱い方を実際の指導の下で学んで頂き、父兄児童から興味深く取り組んでもらいました。秋の展覧会にも参加させて頂き、ご利用者も真剣に出品作品の作成に取り組んでおられます。我々が特に日々意識している事は、ご利用者の自己決定の尊重、地域との関わりでの奨励と自立支援です。日常の中で何がしたいのかを一緒に考え、その上でそれが達成されるにはどんな社会資源を活用すればいいのか、身体的には困難でも精神的な面も含めて自立の方向へ向ける為にはどのような支援を行えばいいのかを日々の業務の中で意識しながらお手伝いさせて頂いております。月一回のお茶飲み会ではご利用者と地域の方が協働しておやつ作りを行ったりして、笑顔が絶えない交流の場となっております。又月刊のグループホーム新聞では、ご利用者の生活や行事の様子、認知症への理解を深めて頂ける様なコメントを掲載し、例え認知症であっても穏やかに楽しく生活できる事を訴えております。認知症に対する偏見は半分薄れてきていると考えますが、これからは決して怖い病気ではなく地域と対等に共存できる事をアピールしていきたいと思っております。更に運営推進会議に於いては地域の自治会長、民生委員、行政、地域包括支援センター、訪問看護師と高齢者がその人らしくあたり前な生活が送れる様意見交換を行い、それらが支援の大きな財産となっております。これからも地域との関わりを増やし、高齢者一人ひとりが地域を構成する一員である事を認識してもらえる様支援していきます。

平成16年に開所して、7年の月日が経過している。ホームの名称の「そよ風」とは、草原の中に風が吹いていると言う意味であり、春のぼかぼか陽気の中にそよ風が吹くように、島田地区のそよ風になればと地域の一員として、また一つの家庭として地域の中で暮らしていけるよう取り組んでいる。

利用者は、お茶の時間に会話を楽しんだりテレビを見ながら冗談を言い合い、家庭的な雰囲気の中、人とのふれあいを大切に日々過ごしている。新人職員は、業務に追われ余裕がないのが現状だが、日々の暮らしの中で徐々に利用者とコミュニケーションを図れるようになってきて、利用者に声をかけてもらえたり、共に楽しみや喜びを共有できるようになってきていることにやりがいを感じている。

管理者は、夜間は一人で不安と言う職員の思いをくみ、2ユニットあることからベテラン職員と新人職員を組み合わせることで不安を少しでも解消できるようにしている。職員が働きやすい環境を作ることによってストレス軽減となり、利用者へのケアの充実につながり、いい雰囲気を保っている。

地域とは自治会長・民生委員が橋渡しをして下さり、恒例になっている月1回のお茶の間には多くの方に参加してもらい、利用者の楽しみとなっている。今後も地域とつながりながら、利用者を支援していきたいと新たな取り組みを模索しているホームである。